



ヘリコプターによる被災者の救助



空中給油・輸送機で支援物資を輸送



米軍ヘリコプターへ救援物資を積み込み

防衛省・自衛隊と米軍は、東日本大震災
において災害救援活動を展開しています。

Contents

東日本大震災災害派遣	P2・3
オペレーション・トモダチ	P4・5
国際平和協力活動／	
防衛施設地方審議会開催	P6
岩国基地に関する協議会開催	P7
防衛施設建設工事完成	P8
高機能防火衣整備／	
松江市立八束小中学校校舎完成	P9
感謝状の贈呈／	
自衛隊入隊・入校激励会	P10
人事異動	P11
第1術科学校卒業式／	
防衛省職員採用試験のお知らせ	P12



編集・発行

中国四国防衛局

〒730-0012

広島県広島市中区上八丁堀6-30

TEL082-223-7109

■■ 東日本大震災災害派遣 ■■

3月11日に発生した東日本大震災により犠牲になられた方々に対し心より哀悼の意を表すとともに、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

災害発生後、中国四国防衛局管内に所在する陸・海・空の自衛隊からも被災地に部隊が派遣され、捜索活動、災害復旧や生活支援等の活動を24時間体制で実施しています。



捜索活動(いわき市第8普通科連隊)



瓦礫の除去(いわき市第8普通科連隊、第13施設中隊)



屋外での診療(広野町第13後方支援隊)



学校の資材の移動(いわき市第13偵察隊)



捜索活動(女川町第15普通科連隊)



捜索活動(石巻市第50普通科連隊)



公共施設復旧活動(第47普通科連隊)



入浴支援活動(第14後方支援隊)



救援物資US-1搭載(第31航空群)



救援物資搭載(第31航空群)



救援物資車両搭載(第31航空群)



救援物資C-1搭載(第3輸送航空隊)



救援物資搬入(第3輸送航空隊)



給水支援活動(第7移動警戒隊)

■ ■ 「オペレーション・トモダチ」 ■ ■

4月26日、辰己局長は、スチュワート米海兵隊岩国航空基地司令官へ東日本大震災における米軍の災害支援作戦「オペレーション・トモダチ」の謝意を伝えるとともに、この作戦における岩国基地の役割などについて会談を行い、スチュワート司令官から次のような説明がありました。

Q. 東日本大震災における米軍の災害支援活動として「オペレーション・トモダチ」が行われているが、岩国基地の役割と支援内容について

米海兵隊岩国航空基地は、災害支援を最も必要とする地域へ効率的に人員と物資を流通し、沖縄と被災地を結ぶエア・ブリッジ（空の架け橋）とシー・ブリッジ（海上輸送の橋）の役割を果たしております。搜索救難隊、補給支援、災害援助物資の次から次への輸送は、東北地方の最終目的地に向かうために全て当基地を通過しました。

Q. 災害支援において、自衛隊と米軍によるかつてない緊密な連携が行われているが、今回のオペレーションでの自衛隊と米軍の連携の評価について

我々と自衛隊の運用の連携は完璧でありました。すなわちこれは、数年にわたる共同訓練と演習の成果であると言えます。周防大島町や長門市、下関市で集積され、米海兵隊岩国基地に運び込まれ、海上自衛隊のご尽力で前に進めて頂いた災害支援物資を空輸することにより、全く一貫した協力体制が証明されました。



Q. 今回のオペレーションに参加している米海兵隊岩国基地の隊員の印象や感想について

基地全体の支援態勢の焦点は、3月11日以降災害対応を支援することを中心に成っております。基地の様々な部隊の海兵隊員は多義にわたる業務や場所、例えば岩国や北日本の拠点などでオペレーション・トモダチに参加しましたが、その献身ぶりと決意は全員が一致団結したものでした。



岩国基地における「オペレーション・トモダチ」の概要 (3月31日現在)

海兵第152航空給油輸送中隊：岩国基地を飛行運用の拠点(ハブ)として約695,000キロの貨物を輸送
 海兵第36戦闘補給中隊：世界中から日本国向けに送られてきた人道支援物資の仕分け
 自衛隊と協力して、山口県内で収集された食料品などを4回航空輸送
 岩国基地内に集められた飲料水、衣料品などの寄付品約4,600キロを仙台に航空輸送

Q. 今回、米軍は岩国市のために被災地の支援物資の輸送を行うなど岩国市との連携も円滑に進んでいると思うが、今回の支援に関する岩国市との協力関係の評価について

岩国市のご協力並びにご理解は当方の災害支援活動において絶対的に必要なものです。とても幸運なことに、我々は基地を受け入れて下さっている地元並びに地方自治体との間にそのような有益なそして実りのある関係を享受しているところです。



Q. 岩国基地における災害などの非常事態が発生した場合の対応について

日本政府と協調し、米国政府の指示のもと、岩国基地はあらゆる非常事態に対応するべく準備ができています。

Q. 岩国基地の運用に当たって、心がけている点について

基地においても、市街地においても、全人員の安全並びに保全に重点を置いてます。運用の一つ一つを実施するにあたり、兵員と装備のリスクを査定し最小限に治める如くできる限りの努力を尽くして行っているところです。

Q. 最後に、日本(岩国市)のみなさんにメッセージをお願いします。

幾多の悲惨な災害が発生した今、日本の皆様とともにお悔やみ申し上げたいと存じます。基地としては引き続き、あらゆる手を尽くして災害支援に当たってまいります。困ったときに手を差し伸べるのが友というものです。

(写真提供: 岩国基地報道部)



■ ■ 国際平和協力活動 ■ ■

ゴラン高原輸送隊派遣



駐屯地見送り



食料品輸送

陸上自衛隊第14旅団基幹の43名（隊長・志道桂太郎3陸佐）は、ゴラン高原の国連兵力引き離し監視軍（UNDOF）への第31次ゴラン高原派遣輸送隊要員として派遣されました。

3月3日、第30次隊との部隊交代がシリア側にあるファウアール宿営地で行われ、3月4日より、およそ半年間の活動を開始しました。

派遣任務として輸送班は、食料品輸送、洗濯物輸送、オイル輸送、現地雇用者輸送等を、分遣班は、施設器材整備、燃料補給業務、警備道の整備等を実施します。

ソマリア沖・アデン湾海賊対処派遣



出港式



3月15日、海上自衛隊呉基地から護衛艦「さざなみ」と「いなずま」の2隻は、アフリカ東部のソマリア沖・アデン湾における海賊対処活動のため、第8次派遣隊として出港しました。

呉基地からの派遣は、平成21年3月に続いて2回目です。

派遣部隊2隻には、隊員約370人と海上保安官8人が乗船。現地で第7次隊と交代し、日本船舶や外国船舶の護衛活動に当たっております。

■ ■ 防衛施設地方審議会開催 ■ ■



2月22日、平成22年度中国四国防衛施設地方審議会が開催され、神津会長（中国化薬株式会社社長）ほか審議会委員5名と、中国四国防衛局から辰己局長ほか13名が出席しました。

最初に辰己局長より「防衛計画の大綱及び中期防衛力整備計画」についての説明を行い、続いて藤代企画部長及び大石調達部次長から「管内防衛施設の主要事案」について説明を行いました。

また、委員の方々に防衛に対する理解と知見を深めていただくため、海上自衛隊呉地方総監部を訪れ、概況説明の後、呉基地係船堀地区で施設及び護衛艦「さみだれ」の現地視察を行いました。

■ ■ 岩国基地に関する協議会開催 ■ ■

2月17日、米海兵隊岩国基地に係る安心・安全対策について、中国四国防衛局、岩国市、山口県の3者が共同して問題解決を図るための「岩国基地に関する協議会」の第5回会合が岩国市役所で開催されました。

中国四国防衛局から辰己昌良局長ら、岩国市から福田良彦市長ら、山口県から渡邊修二総務部理事が出席。開催に当たり、辰己局長は「解決すべき課題を一つ一つ確認し合いながら、岩国市がより発展するために努力していきたい」と延べ、協議等を行いました。



今回の協議会では、最初に、これまでの協議会確認事項の取り組み状況として、新滑走路運用開始後は航空機騒音の減少傾向が見られることや、1月30日に「IWAKUNI | 日米交流合同コンサート」が開催されたことなどを報告。次に、協議事項として、住宅防音工事の拡充、地域振興策等、航空機の騒音規制措置、米軍再編に係る訓練移転の拡充、事件・事故等への適切な対応などについて幅広く議論が行われました。



協議会後に行われた共同記者会見では、福田市長から住宅防音工事の拡充や地域振興策に係る経費が平成23年度政府予算案に計上されたことについて改めて評価をいただき、また「今後とも、市民の安心・安全の確保に全力を傾注し、多くの市民に納得のいくような結果を出すべく努力していく」旨の発言がありました。



■ ■ 防衛施設建設工事完成 ■ ■

岩国飛行場滑走路移設事業の工事完成



総事業費：約2,500億円
 埋立規模：約213ha
 埋立土量：約2,095万m³
 滑走路：長さ2,440m×幅60m
 誘導路：平行誘導路、連絡誘導路(幅23m)
 施設：航空灯火、管制塔、管理棟、消防署等

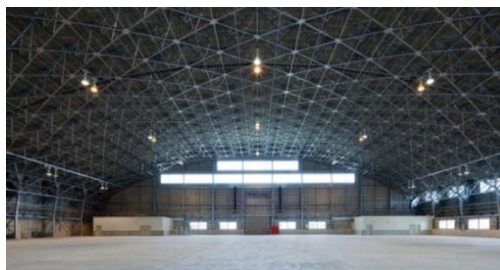
西側平行誘導路部分



岩国飛行場滑走路移設事業は、同飛行場の運用上、安全上及び騒音上の諸問題を解決し、米軍の駐留を円滑にするるとともに、同飛行場の安定的使用を図るため、滑走路を東側へ1,000m移設することとしたものです。工事全体の完成時期は、平成22年度末頃を見込んでいましたが、事業の目的を早期に達成するため、主要工事の完成後、平成22年5月29日に新滑走路の運用を開始し、平成23年3月31日にすべての工事が完成いたしました。

本事業における工事は、平成8年度から平成22年度までを要しましたが、その間、工事にご理解ご協力を頂いた地元、自治体及び関連団体並びに工事関係者の皆様方に改めてお礼申し上げます。

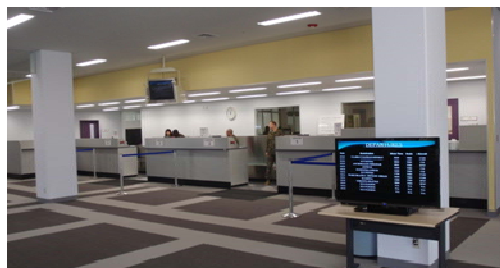
岩国飛行場海自格納庫完成



施設概要
 建築面積：5,427.92m²
 延床面積：6,122.19m²
 構造：鉄骨造
 (一部鉄筋コンクリート造)
 階数：平屋建(一部2階建)

海上自衛隊格納庫は、岩国飛行場の新滑走路の運用等に伴う配置計画の見直しにより建設された施設で、平成23年3月31日に完成しました。

岩国飛行場乗客ターミナル完成



施設概要
 建築面積：3,671.13m²
 延床面積：4,163.16m²
 構造：鉄筋コンクリート造
 (一部鉄骨鉄筋コンクリート造)
 階数：2階建

乗客ターミナルは、岩国飛行場を出発、到着、または乗り継ぎする米軍人等の旅客のための施設で、老朽化のため新たに建替えしたものであり、平成23年2月25日に完成しました。

■ ■ 高機能防火衣整備 ■ ■



岩国地区消防組合（管理者：岩国市長）は、住民の安心・安全の確保のため、災害時における消防活動をより安全かつ機動的に行うことができる、防災性、遮熱性、耐熱性に優れた「国際基準ISO11613」に対応した防火衣を整備。全消防隊員205人に貸与し、収納庫も整備しました。この整備には、防災に関する事業として、約3千9百万円の米軍再編交付金が使われています。

概要

- 防火衣 205着 ■防火衣収納庫 81台
- 岩国市対象分（防火衣：186着 防火衣収納庫：74台 事業費：約3千6百万円）
- 和木町対象分（防火衣：19着 防火衣収納庫：7台 事業費：約3百万円）

■ ■ 松江市立八東小中学校校舎完成 ■ ■



(写真提供：松江市教育委員会)

島根県松江市は、学校施設の耐震化の重要性を踏まえ、航空自衛隊美保飛行場の西側に所在する八東小学校及び八東中学校の生徒たちの安心・安全を確保し快適な教育環境を整備するため、平成21年度から校舎の建替工事に着手し、この度、県内初の小中一体型校舎が完成しました。本校舎は、防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律第3条第2項の規定に基づき、航空機騒音を防止、軽減するための防音工事費として、約1億9百万円の補助金が使われています。

施設概要

- 鉄筋コンクリート造2階建
- 建築面積 3,296㎡ ■延床面積 5,248㎡

■ ■ 感謝状の贈呈 ■ ■



2月7日、陸上自衛隊日本原演習場における81mm迫撃砲の実弾射撃の実施や日米共同訓練（FTX）の実施など、当省の防衛政策に理解を示され、議会及び地元調整に尽力されるなど、同演習場の安定的使用に貢献された功績により、前奈義町議会議長 栗井 忠義(あわいただよし)氏(写真左側)、前奈義町演習場対策特別委員長 小童谷 進(ひじやすすむ)氏(写真右側)に対して、中国四国防衛局長から感謝状が贈呈されました。

■ ■ 自衛隊入隊・入校激励会 ■ ■



広島県の激励会



自衛隊入隊・入校予定者一人一人と握手する二井関成山口県知事



山口県の激励会で祝辞を述べる辰己局長



激励コンサート



中国四国防衛局管内の各県では、2月から3月にかけて、今春に自衛隊や防衛大学校などへの入隊・入校する入隊・入校予定者（管内約1,000人）に対して、県防衛協会、県隊友会や全国自衛隊父兄会県支部連合会が主催する自衛隊入隊・入校激励会が開催されました。

激励会には、入隊・入校予定者やそのご家族、来賓などが参加。

激励会は、主催者挨拶の後、入隊・入校予定者の紹介、来賓祝辞、北澤防衛大臣のビデオメッセージの披露、記念品贈呈、昨年春に入隊した先輩隊員からの激励メッセージ、入隊・入校予定者代表による謝辞及び決意表明、自衛隊音楽隊による激励コンサートなどがあり、盛大に行われました。

■ ■ 人事異動 ■ ■

春の定期人事異動により新しく中国四国防衛局の一員となった職員を紹介します。

防衛補佐官



飯塚祥平
1等海佐

第2代目の防衛補佐官として着任しました。職種は回転翼哨戒機(SH-60J)の操縦士で、海上自衛隊の外で勤務するのは初体験です。自衛官の視点をもって幅広い分野で地方防衛局の任務を理解し、辰己局長の「懐刀」となれるよう、精進してまいります。

会計監査官



橋本和人

業務は局内内部監査や会計検査院が実施する実地検査の窓口ですので、地方自治体等の皆様にはお世話になります。着任早々、5月は同院の各部署の検査が1ヶ月間連続で続かさに荒波の中の船出となりました。初めての広島勤務ですが、よろしくお願い致します。

岩国防衛事務所長



江本孝夫

昭和57年4月から3年間、施設第一係長として提供施設整備工事の調整に係りました。当時、滑走路移設事業は未だ調査段階で、その後本庁(省)で担当補佐になるとは夢にも思いませんでしたが、22年度末で完了したのは感無量であります。28年後再び勤務することになり頑張っていきたいです。

企画部次長



中谷 豊

調達部次長



山沢秀典

この人紹介

37年間建設業務一筋に勤務、当局総括建設監督官を最後に平成23年3月31日付けで退職され、再任用として引き続き当局の建設業務とともに後輩指導に当たられております 原田 斎(はらだいつき) 建設監督官を紹介します。



皆さん、こんにちは、原田 斎です。

振り返りますと、那覇局での通行変更に伴う工事車両事故の心配、大阪局での建設工事に伴う埋蔵文化財調査、名古屋支局での集中豪雨災害復旧、当局での海上自衛隊呉史料館(てつのくじら館)や防衛省の一大プロジェクトである岩国飛行場滑走路移設事業など、多様な業務を経験しました。再任用について皆様から期待されているのは、これまでの経験を生かした①適切なアドバイス②若手への指導と考えております。

時代の流れと変化を見極めた態度・言いまわしは、心がけていても会話が白熱すれば、つつい手っ取り早い言葉になりがちです。

今後、意見の食い違いにより衝突もあろうかと思われませんが、現在の職場環境は非常に明るく、活気にあふれており、例えそのような状況が生じて、必ず乗り越えることが出来ると強く信じております。

今後ともよろしくお願い致します。

■ ■ 第1術科学校で海上自衛隊生徒最後の卒業式 ■ ■



海上自衛隊第1術科学校では、3月27日、同校生徒部の最後となる第53期海上自衛隊生徒(39人)の卒業式が行われました。

卒業式は、江田島市長、海上幕僚副長(海幕長代理)、呉地方総監、中国四国防衛局長をはじめ部内外の多数の来賓、卒業生徒家族や生徒出身者を含む約1,000人が出席し、国歌斉唱、校長からの卒業証書授与、呉地方総監からの昇任申渡し、卒業生代表によるサービスの宣誓、校長式辞、海上幕僚長の訓辞(海上幕僚副長代読)、江田島市長からの祝辞を受けるなど、厳粛な中に終了しました。

最後の卒業生たちは、それぞれの思い出をタイムカプセルに詰め、同校の生徒資料室に保管し、定年を迎える35年後に開封する約束をしています。

1 術校がもっと身近になるデザイン大募集

第1術科学校では、同校の存在・活動を象徴する親しみやすいロゴマーク及びイメージキャラクターを募集しております。

募集期間：平成23年2月25日(金)～8月26日(金)

お問い合わせ先：海上自衛隊第1術科学校総務課広報係 0823-42-1211(内線2016)

第1術科学校ホームページ

(URL) <http://www.mod.go.jp/msdf/onemss/index.html>

■ ■ 平成23年度防衛省職員採用試験のお知らせ ■ ■

種類	試験区分	受験資格	申込用紙 配布 開始日	受付 期間	第1次 試験日	第2次 試験日	最合 格発	終 日
Ⅲ 種 試 験	一 般 事 務	平成2年4月2日～平成6年4月1日生まれの者	5	7月1日	9	10 月 下 旬	11	11
	電 機 機 械 土 建		月 16 日 (月)	(金)) 7月19日 (火)	月 25 日 (日)			

採用試験の詳しい情報はホームページをご覧ください

●防衛省ホームページ

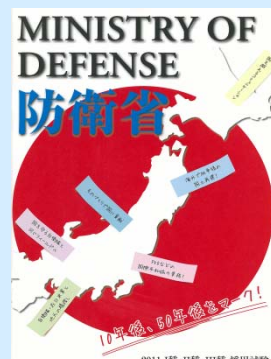
(URL) <http://www.mod.go.jp/>

●中国四国防衛局ホームページ

(URL) <http://www.mod.go.jp/rdb/chushi/>

*受験案内・パンフレットの請求またお問い合わせ等は下記までお願いします

〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30広島合同庁舎4号館7階
中国四国防衛局総務課人事係 TEL 082-223-7105



▲23年度版パンフレット